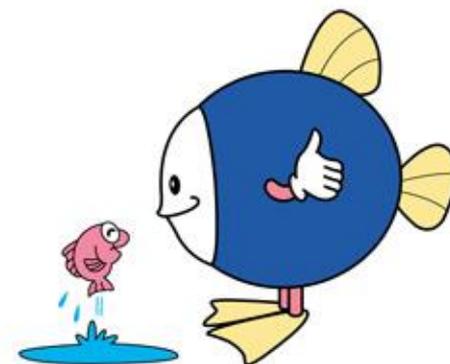


第2期柏原市下水道施設 包括的管理業務について 【アンケート結果】

柏原市 上下水道部



目次

- ・ アンケート結果について.....3
- ・ アンケート結果4

アンケート結果について

柏原市では現在、下水道の維持管理に関する業務を包括的かつ複数年で民間事業者に委託する、「柏原市下水道施設包括的管理業務」を令和5年7月から令和7年6月までの2年間で実施しております。

この度、令和7年7月から実施検討中の「第2期柏原市下水道施設包括的管理業務」について、業務内容や実施期間についてのサウンディング調査を実施いたしました。

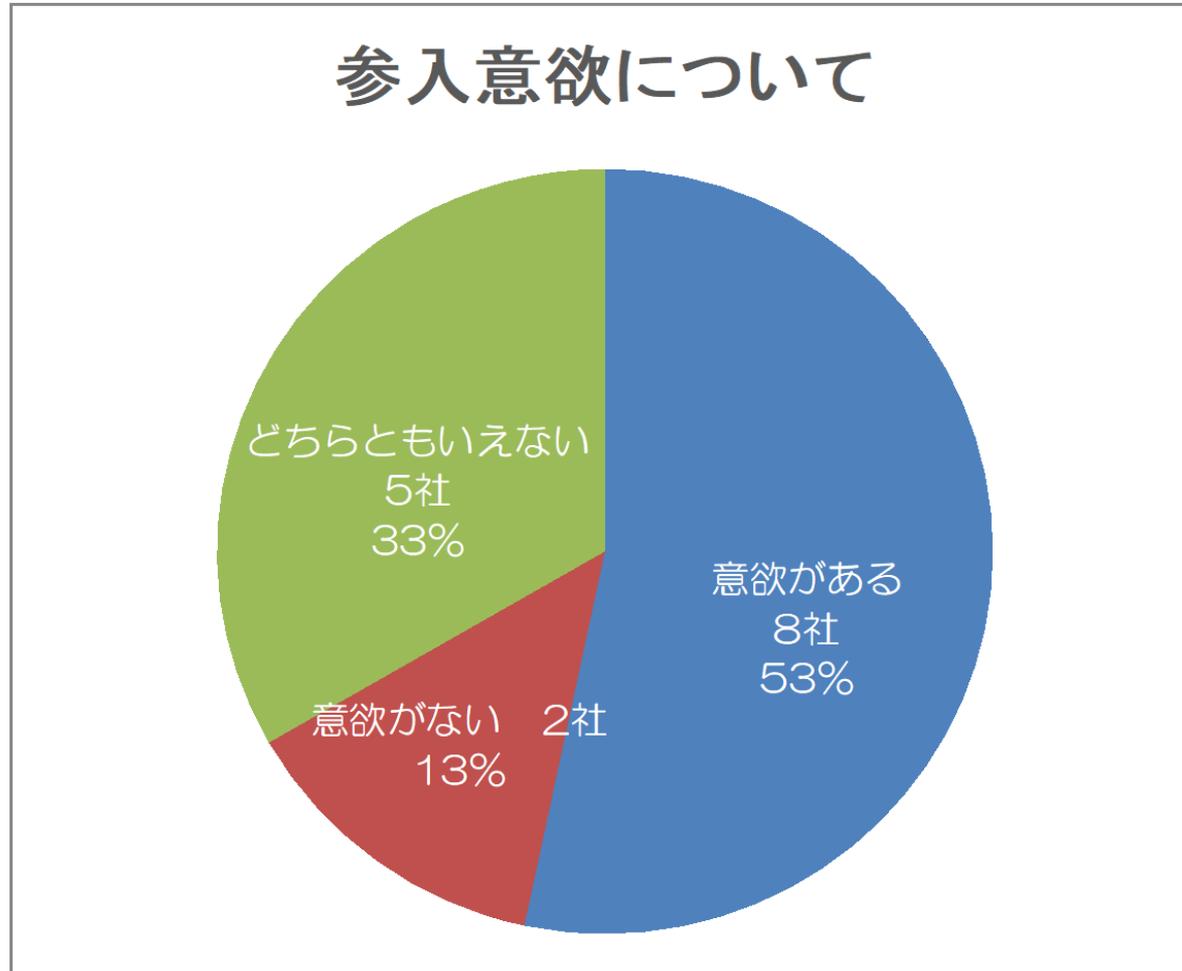
民間企業の皆さまのご協力により、市内企業9社(調査・清掃会社3社、工事会社6社)、市外企業6社(調査・清掃会社1社、工事会社1社、コンサルタント会社4社)からご回答をいただきました。ご回答いただきました民間企業の皆様につきましては、貴重なご意見を頂戴いたしましたこと、大変ありがとうございます。ご回答いただいた結果について、結果を取りまとめた内容をご報告させていただきます。

今回のアンケート結果は、「下水道管路施設の包括的民間委託」の導入に係る事業内容などに活用させていただきます。

民間企業の皆さまにおかれましては、今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。

アンケート結果

質問1-1 第2期包括的管理業務への参入意欲について



【15/15社の回答】

アンケート結果

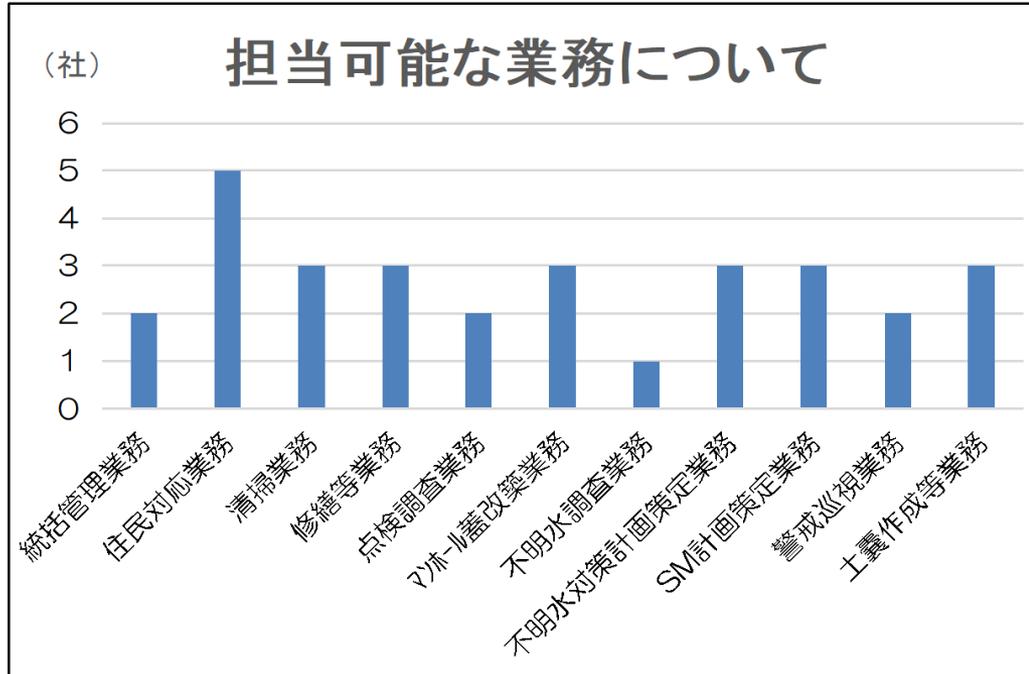
質問1-2 参入意欲に対する選択理由

回答	理由
意欲がある	第2期の業務において追加検討中の、第3期ストックマネジメント計画策定業務に意欲的があるため。
	包括的管理業務を実施することにより、事業が良い方向に進むことにつながるため。
	長年清掃業として柏原市に携わってきたので、今後も少しでも役に立ちたいと考えたため。
	今後のW-PPPに参画をしていきたいため。
意欲がない	分野が違う業種のため。
	現状では、民間業務の対応で工事能力が不足のため。
どちらとも いえない	執行上、体制が整うか検討しているため。
	当社は官民連携の効果を最大限発揮することができるコンセッション事業での社会貢献を目指しており、将来的にコンセッションに繋がる事業であれば参画したいと考えているため。
	今後、ウォーターPPPが増えて行く事が予測されるため。
	実施要領、仕様書を精査の上、判断する必要があるため。

※記載内容は要約したものになります。

アンケート結果

質問1-3 参入意欲のある企業における担当可能な業務について



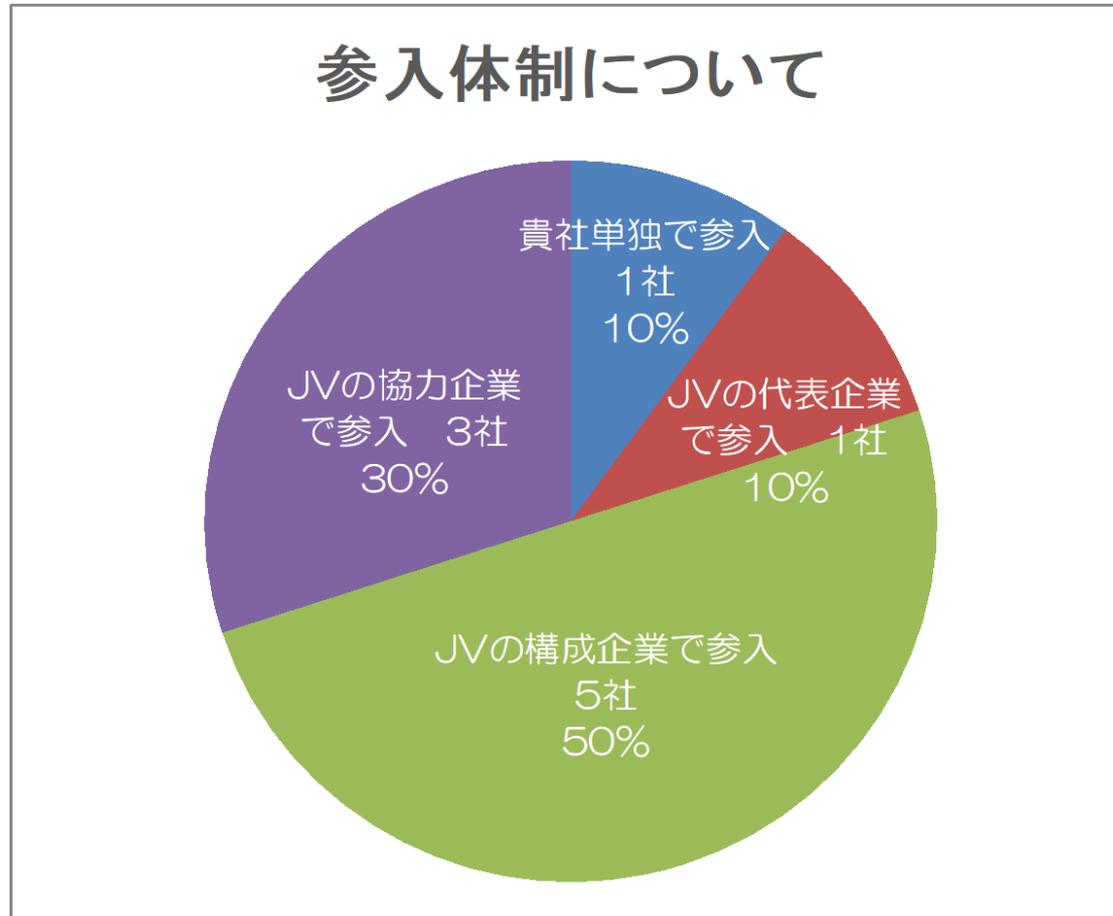
※1社で複数回答がある場合は、複数の回答を反映

【8/15社の回答】

業務	業種		
	調査・清掃	工事	コンサル
統括管理			2社
住民対応	2社	2社	1社
清掃	3社		
修繕等		3社	
点検調査	2社		
マンホール蓋改築		3社	
不明水調査	1社		
不明水対策計画策定	1社		2社
SM計画策定	1社		2社
警戒巡視	1社		1社
土嚢作成等		3社	

アンケート結果

質問1-4 参入意欲のある企業における参入体制について

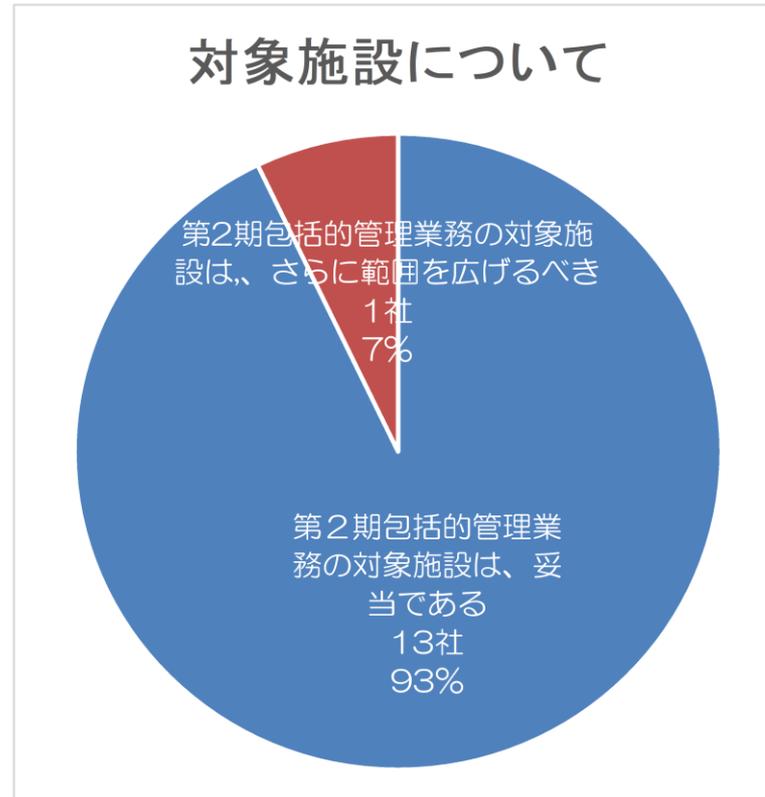


※質問1-1において参入意欲があると回答した8社による、複数の回答を反映

【8/15社の回答】

アンケート結果

質問2-1 対象施設について(1/2)



【14/15社の回答】

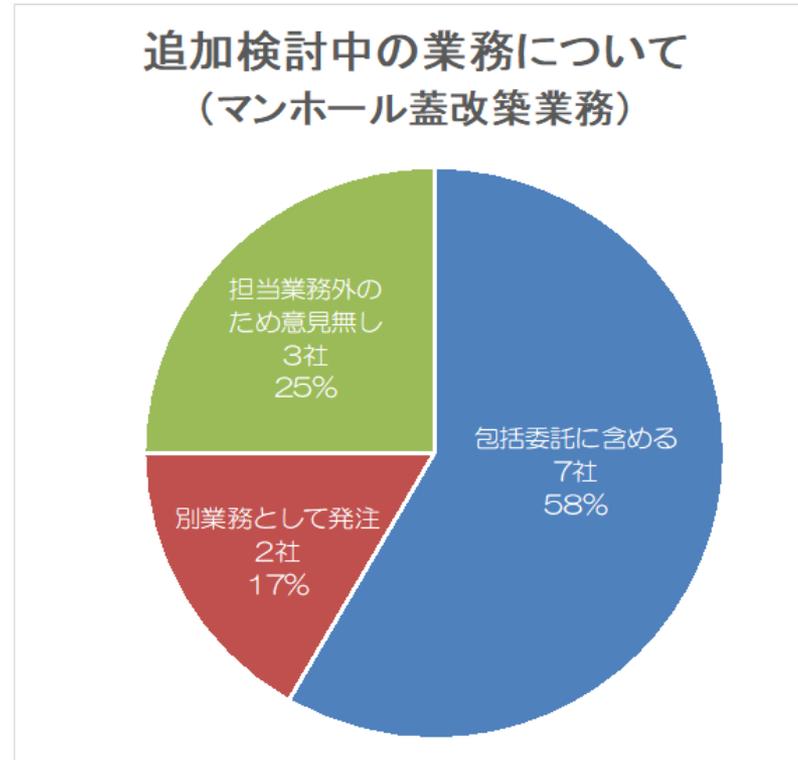
新たに対象とする業務とその理由

機械電気設備、下水道類似施設等も含めることで効率化の可能性があると考えるため。

※記載内容は要約したのになります。

アンケート結果

質問2-2 追加検討中の業務について(マンホール蓋改築業務)



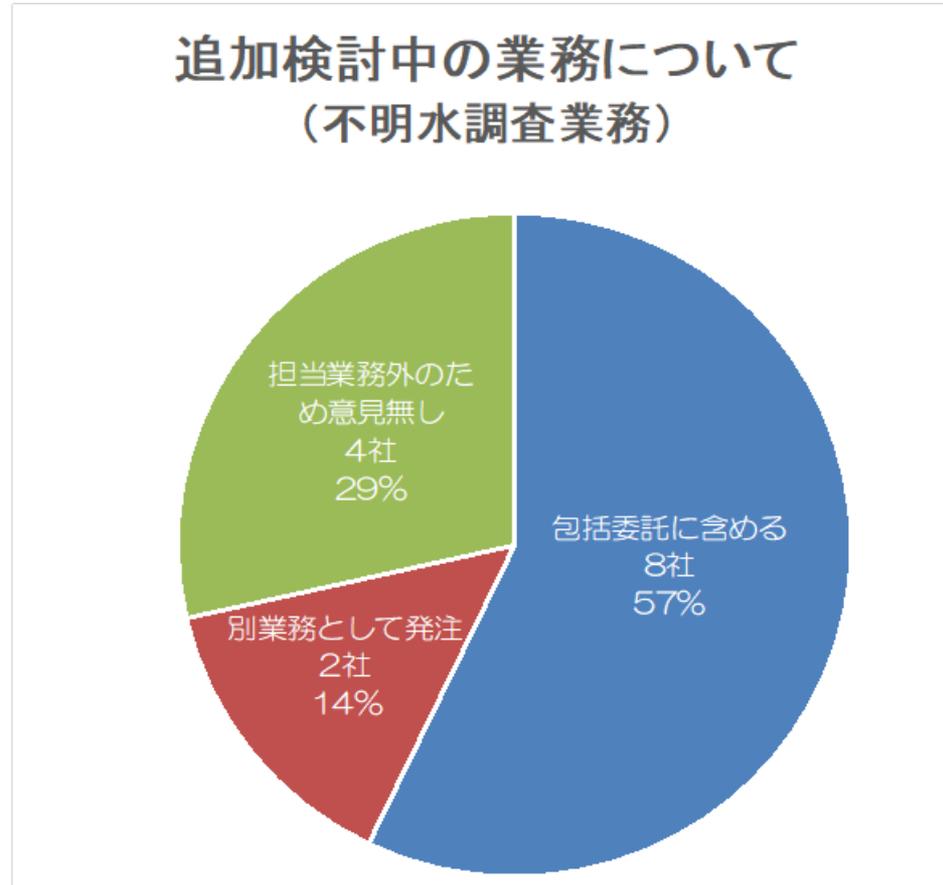
【12/15社の回答】

※記載内容は要約したものになります。

回答	理由
包括委託に含める	業務範囲の拡大により、さらなる効率化が図られる可能性があると考えため。
	調査結果を速やかに対処でき、事業の効率性等が向上するため。
別業務として発注	改築業務が含まれると、業務範囲が多く業務過多に陥る可能性があるため。

アンケート結果

質問2-2 追加検討中の業務について(不明水調査業務)(1/2)



【14/15社の回答】

アンケート結果

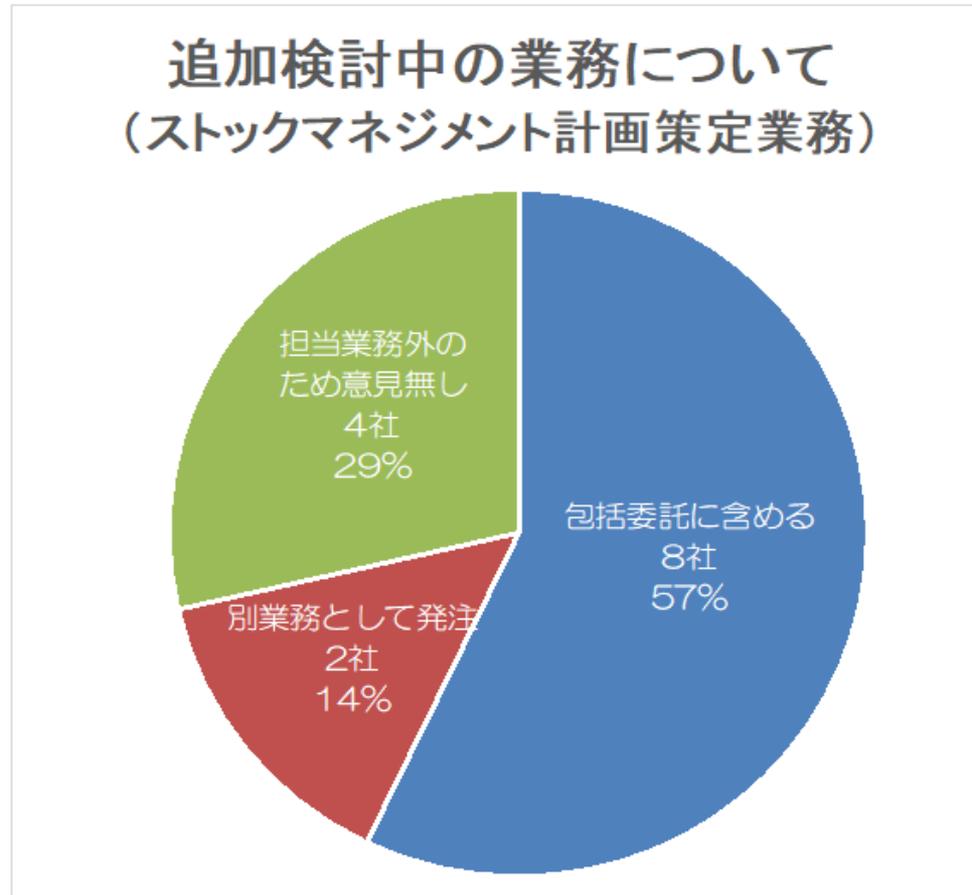
質問2-2 追加検討中の業務について(不明水調査業務)(2/2)

回答	理由
包括委託に 含める	自走式カメラを用いた管路施設の調査方法等が、不明水の詳細調査においても有効であると考えられるため。これらの調査により、不明水の原因となる箇所やその他の問題点の特定できる可能性がある。さらに、ストックマネジメント計画の調査と同時にこれらの調査を実施することで、業務の効率化を図ることが可能となる。
	維持管理の観点より、不明水は課題として含まれるため。
	点検調査業務と不明水調査業務を同一JV内で実施することで、不明水削減に向けた新たな提案ができるため。
	点検調査業務と不明水調査業務は一連の流れがあるため。
	業務範囲の拡大により、さらなる効率化が図られる可能性があると考えられるため。
	調査結果を速やかに対処でき、事業の効率性等が向上するため。

※記載内容は要約したのになります。

アンケート結果

質問2-2 追加検討中の業務について(ストックマネジメント計画策定業務)(1/2)



【14/15社の回答】

アンケート結果

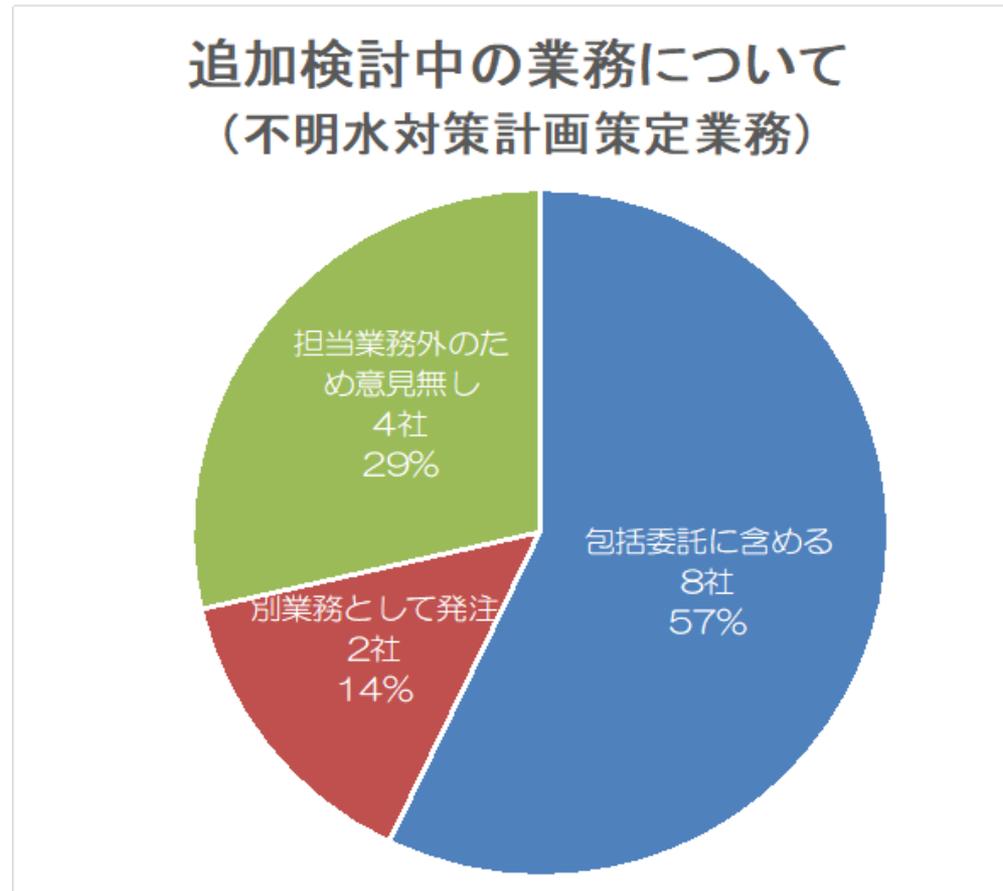
質問2-2 追加検討中の業務について(ストックマネジメント計画策定業務)(2/2)

回答	理由
包括委託に 含める	調査と計画策定を一体的に実施することができ、業務の効率が向上するため。調査から計画策定までの時間のロスを削減し、プロジェクトのスピードアップが期待できる。この一体化は、情報の伝達ロスを防ぎ、より精度の高い計画を策定するために重要である。
	維持管理の観点より、今後本計画業務は必須だと思われるため。
	計画策定業務を含めることで、より効率的に計画を進めることができるため。
	包括業務の中で行えば、一連の流れで計画が立てやすいため。
	業務範囲の拡大により、さらなる効率化が図られる可能性があると考えるため。
	調査結果を詳細に反映した計画策定が可能であるため。

※記載内容は要約したのになります。

アンケート結果

質問2-2 追加検討中の業務について(不明水対策計画策定業務)(1/2)



【13/14社の回答】

アンケート結果

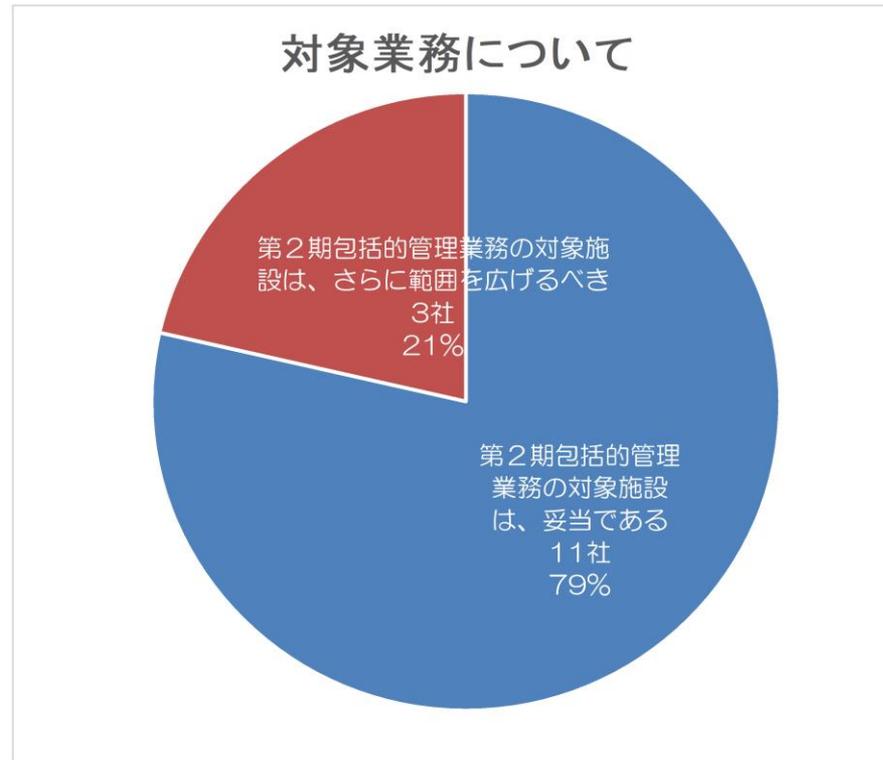
質問2-2 追加検討中の業務について(不明水対策計画策定業務)(2/2)

回答	理由
包括委託に 含める	ストックマネジメント計画と整合を図る調査計画を策定するためには、委託範囲に含めることが望ましいと考えるため。
	維持管理上、業務過多により支障がないようであれば望ましいと考えるため。
	同一JVが行うことで、点検調査業務から不明水調査、不明水対策まで一貫した流れで、責任を持った提案ができるため。
	管路包括は、清掃、点検、調査、不明水調査、計画策定は一連の流れがあるため。
	業務範囲の拡大により、さらなる効率化が図られる可能性があると考えため。
	調査結果を詳細に反映した計画策定が可能であるため。

※記載内容は要約したのになります。

アンケート結果

質問2-3 対象業務について



【14/15社の回答】

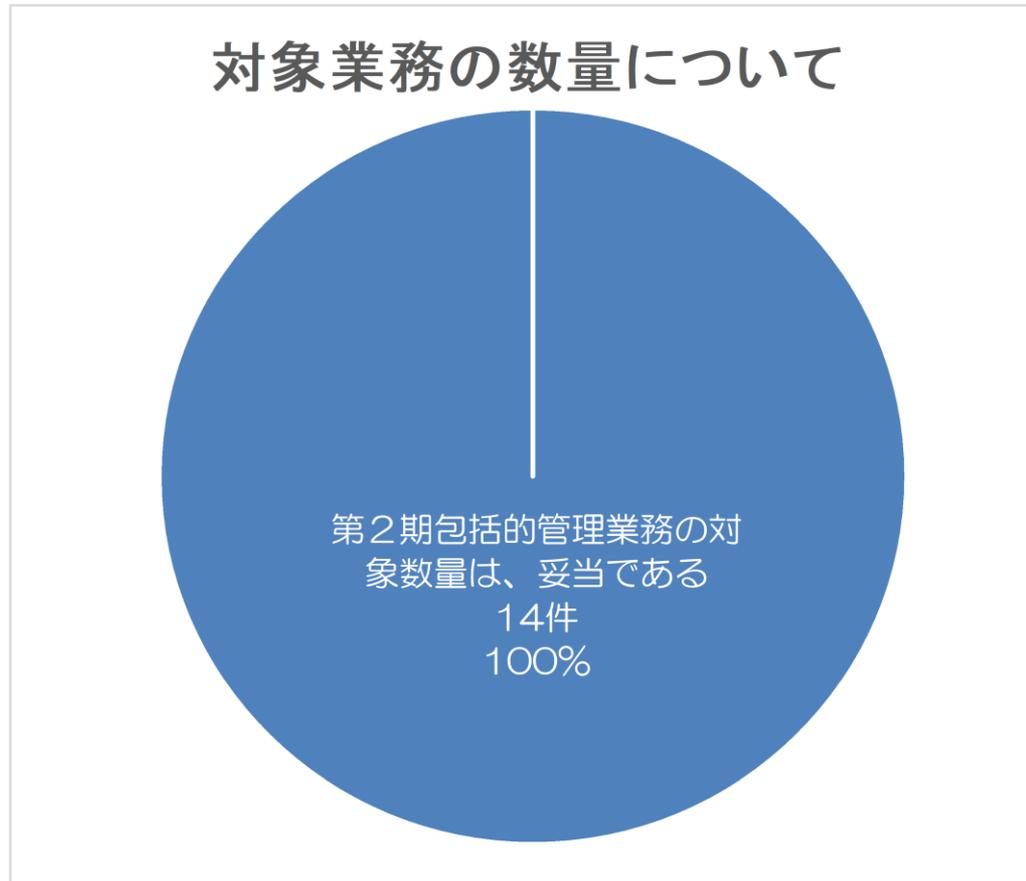
新たに対象とする業務とその理由

現在想定している対象業務の類似業務があれば、さらなる効率化が図られると考えるため。

※記載内容は要約したのになります。

アンケート結果

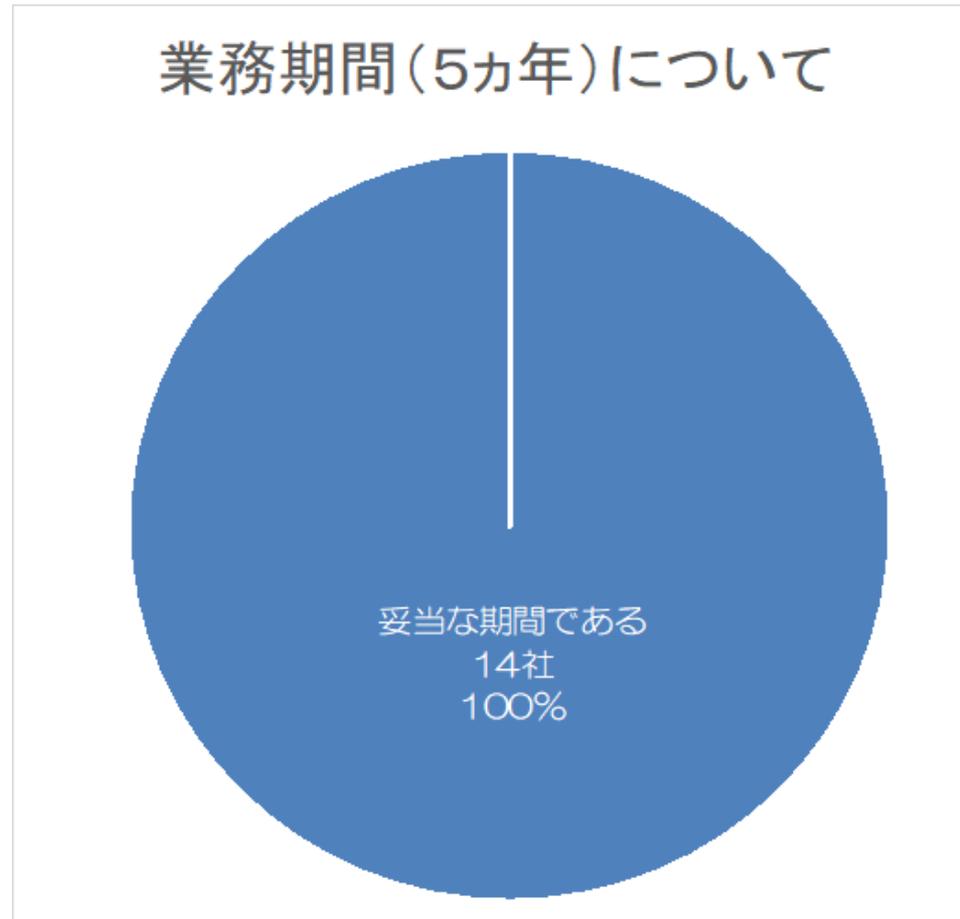
質問2-4 対象業務の数量について



【14/15社の回答】

アンケート結果

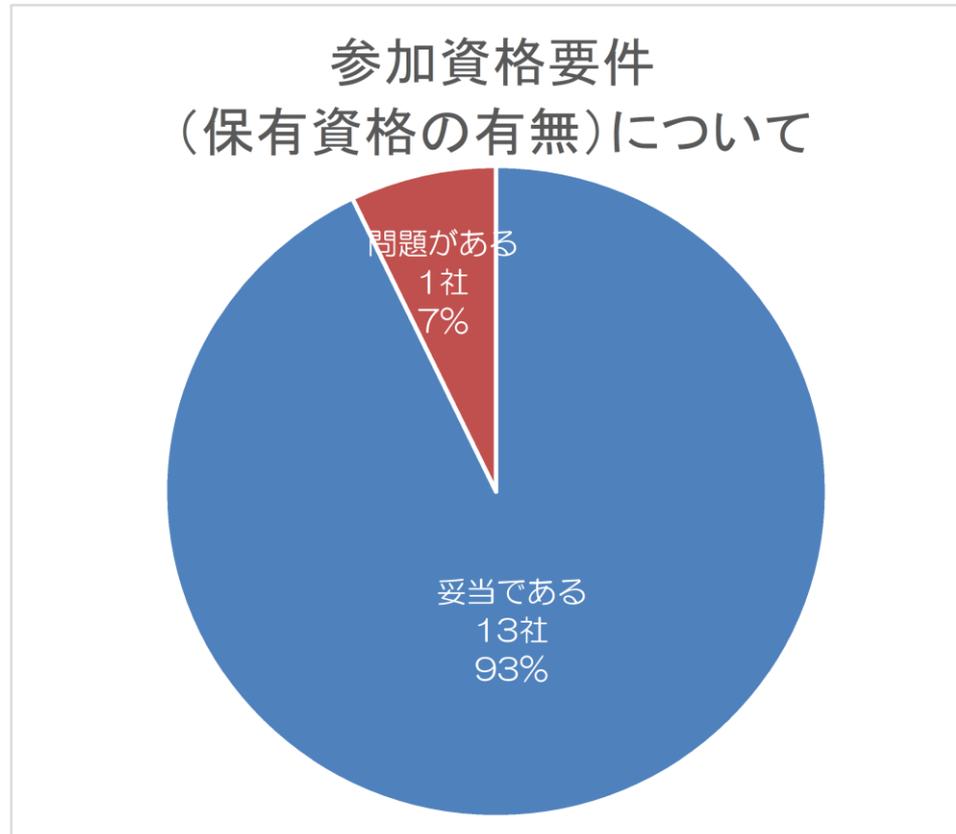
質問2-5 業務期間について



【14/15社の回答】

アンケート結果

質問3-1 参加資格要件(案)について



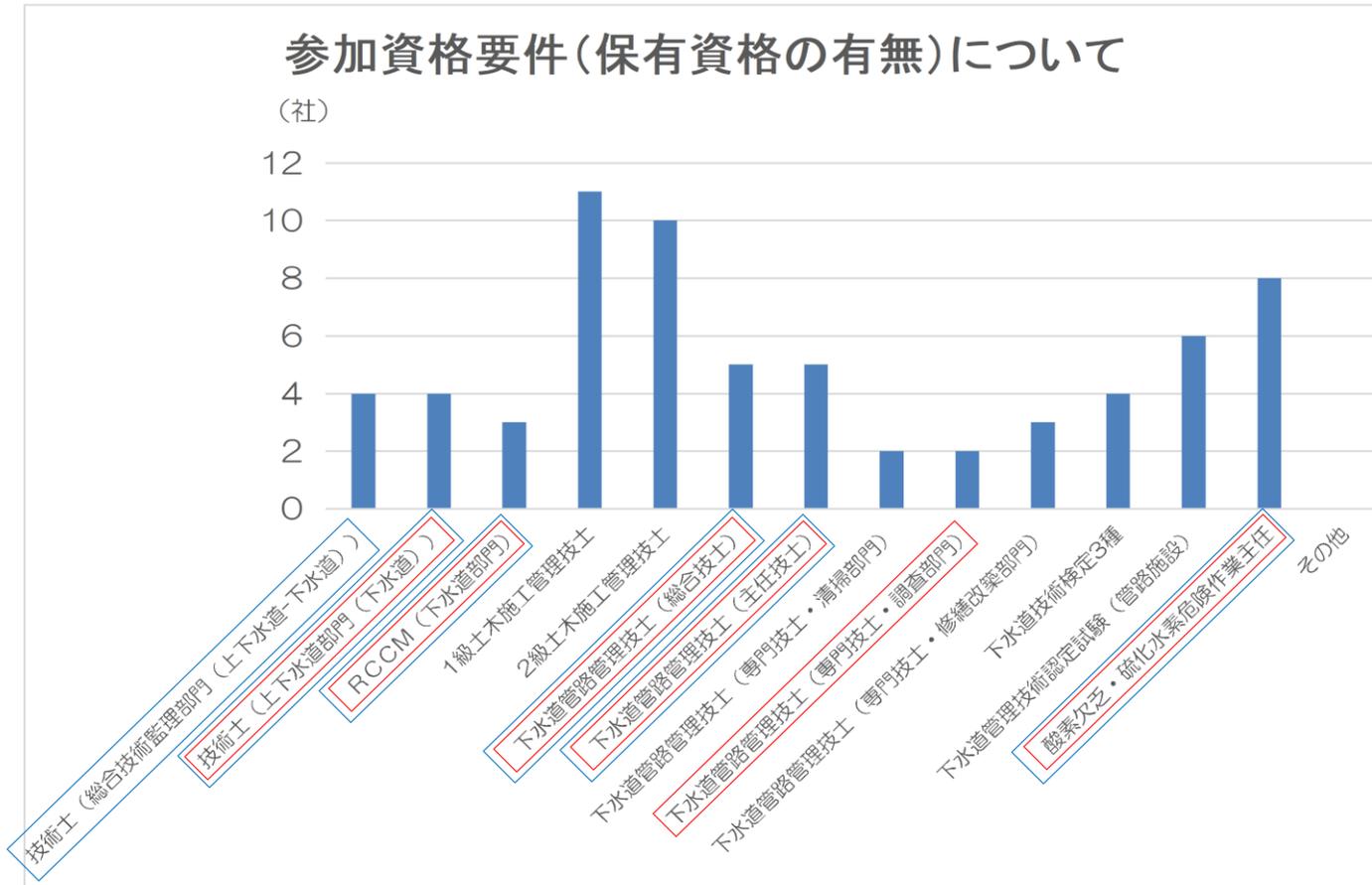
【14/15社の回答】

回答	理由
問題がある	1社では保有資格に限界があるため。

※記載内容は要約したのになります。

アンケート結果

質問3-2 保有資格について(1/2)



※1社で複数回答がある場合は、複数の回答を反映

※上記の資格は、下水道管路施設において維持管理に有効な資格

※ は、第1期包括委託において参加資格要件として求めた資格

※ は、第2期包括委託において参加資格要件として求める資格

【14/15社の回答】

アンケート結果

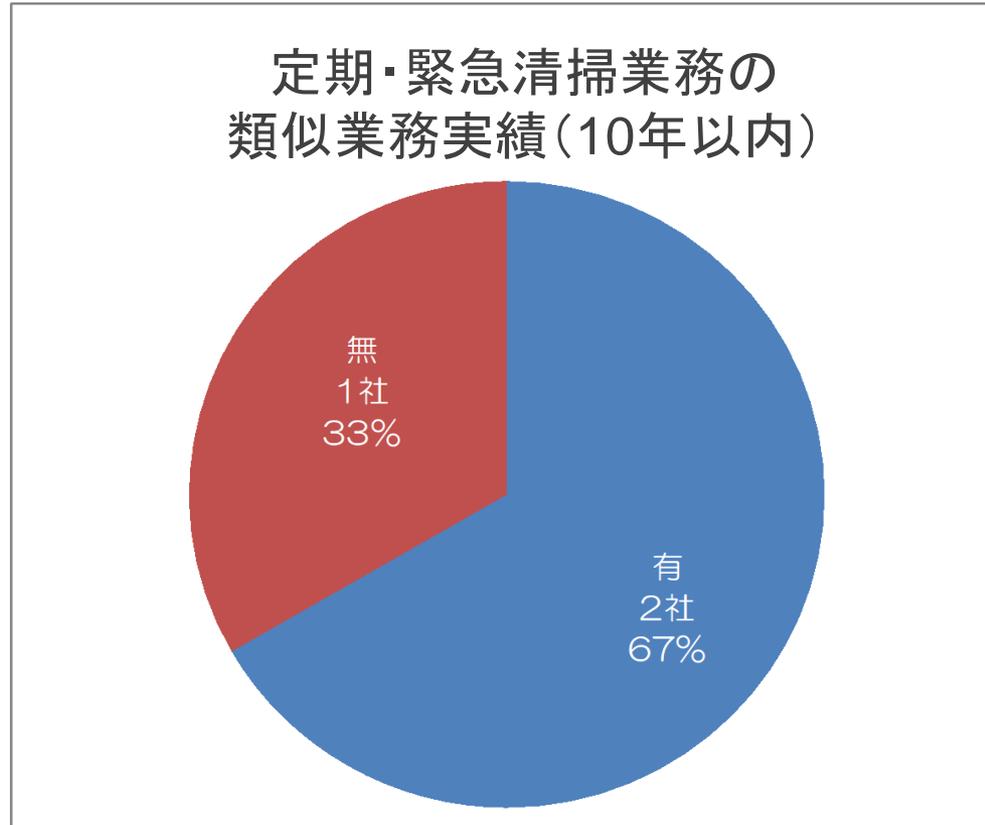
質問3-2 保有資格について(2/2)

資格	業種		
	調査・清掃	工事	コンサル
技術士(総合技術監理部門(上下水道-下水道))			4社
技術士(上下水道部門(下水道))			4社
RCCM(下水道部門)			3社
1級土木施工管理技士	4社	3社	4社
2級土木施工管理技士	4社	4社	3社
下水道管路管理技士(総合技士)	2社		3社
下水道管路管理技士(主任技士)	2社		3社
下水道管路管理技士(専門技士・清掃部門)	2社		
下水道管路管理技士(専門技士・調査部門)	2社		
下水道管路管理技士(専門技士・修繕改築部門)	2社		1社
下水道技術検定3種			4社
下水道管理技術認定試験(管路施設)	3社		3社
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任	3社		4社
その他			

※1社で複数回答がある場合は、複数の回答を反映

アンケート結果

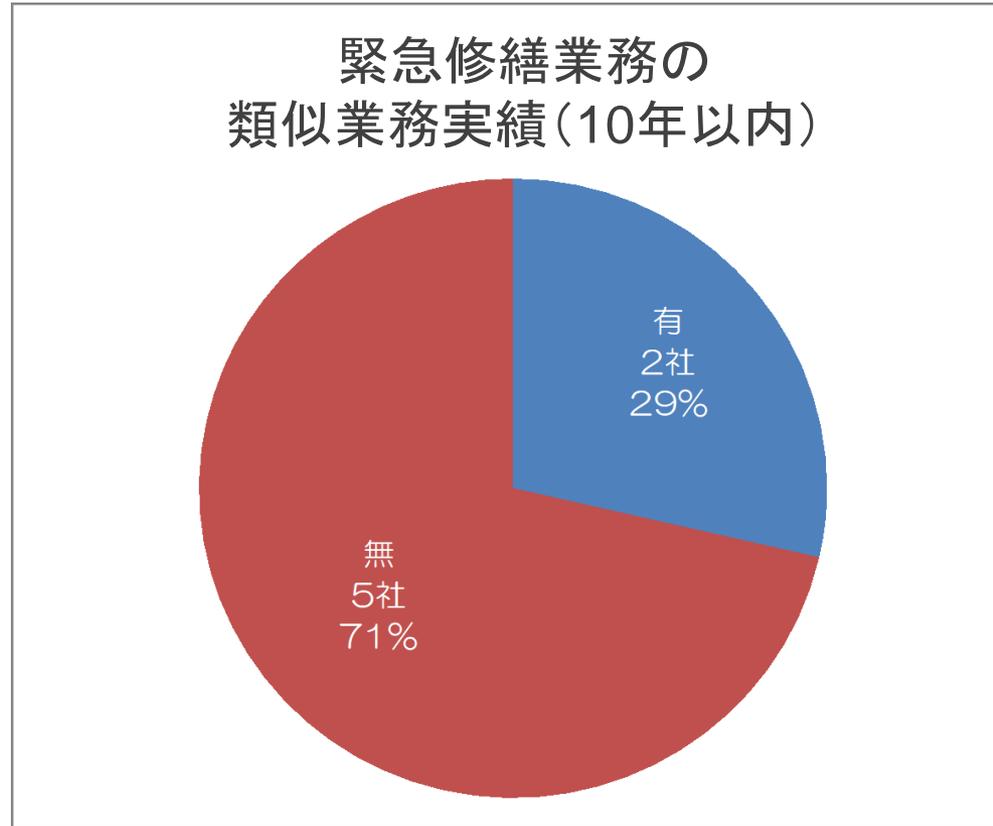
質問4-1 定期・緊急清掃業務の類似業務実績について



【15社のうち、しゅんせつ工事に登録された3社の回答】

アンケート結果

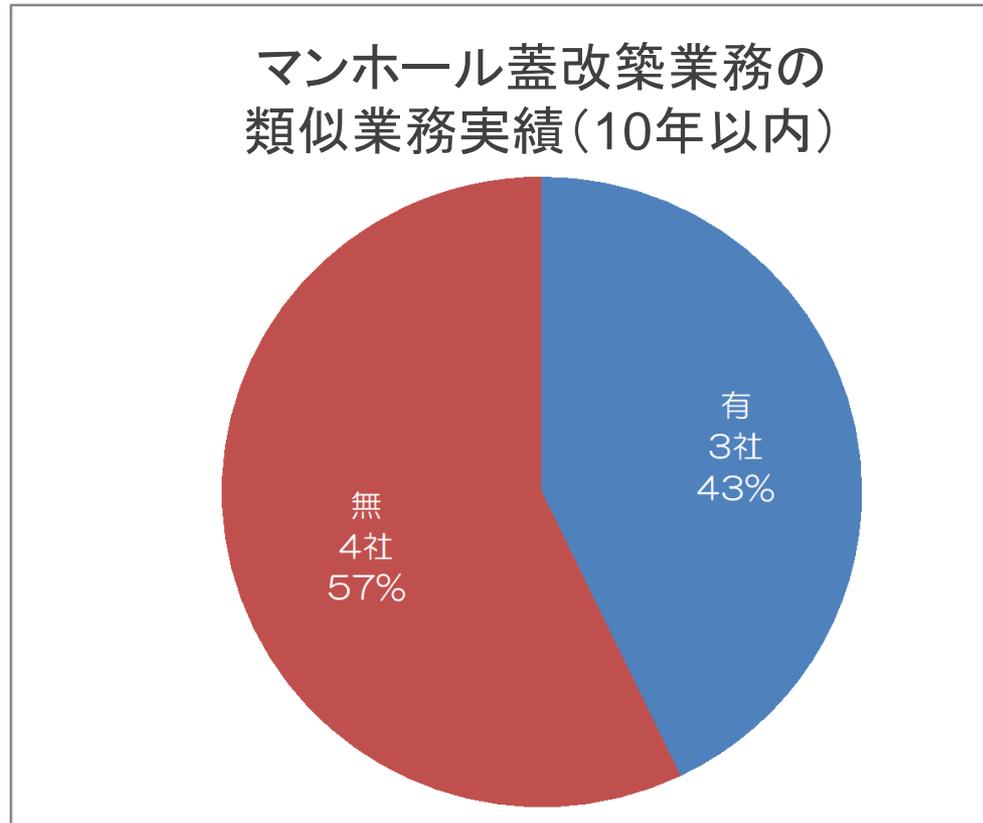
質問4-2 緊急修繕業務の類似業務実績について



【14社（1社未回答）のうち、土木一式工事に登録された7社の回答】

アンケート結果

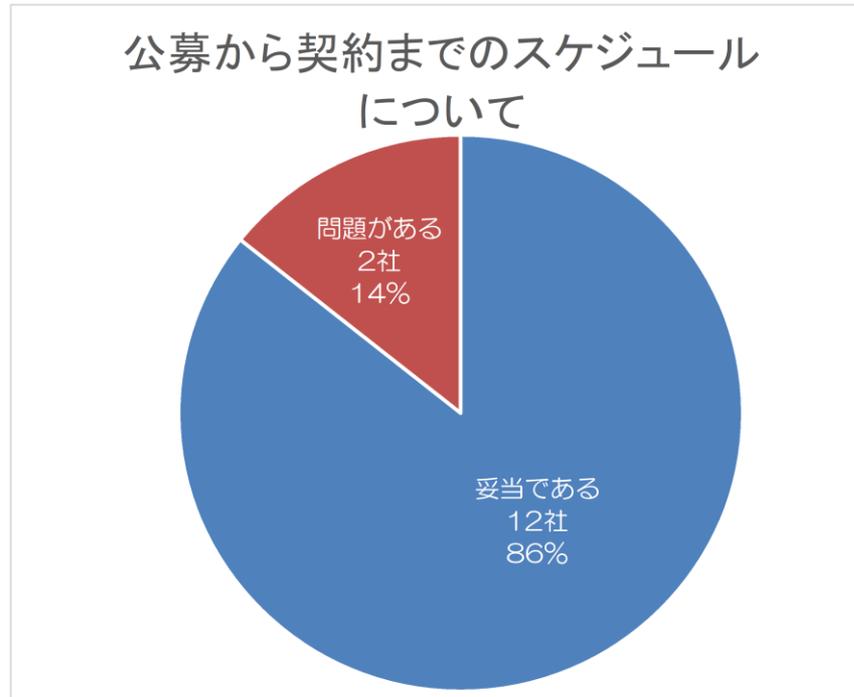
質問4-3 マンホール蓋改築業務の類似業務実績について



【14社（1社未回答）のうち、土木一式工事に登録された7社の回答】

アンケート結果

質問5 公募から契約までのスケジュールについて



【14/15社の回答】

回答	理由
問題がある	本事業は幅広い業務内容が盛り込まれており、1社では対応できないことから、複数社によるグループ組成が必要と考えている。今回のスケジュールでは、公募から企画提案書の提出までの期間が最大3か月と短く、コンソーシアムの組成及び内部での十分な検討期間の確保が困難ではないかと考えているため。
	公告日から企画提案書の提出が2か月であり、少し短いと感じるため。（3か月程度必要）

※記載内容は要約したものになります。

アンケート結果

質問6 ご意見・ご要望

回答	理由
要望	<p>今回の包括的管理業務は、レベル3.5以上ではないことから、貴市に貢献できる事業範囲は少ないと考えているが、令和12年度からのWPPP化、更には将来的なコンセッション化に向けた意見交換等をさせていただきたい。</p> <p>また、将来的な行政の土木職員不足や地元企業の確保・育成等の観点も踏まえ、国土交通省が推進する道路等も含めた群マネの推進についても、併せて意見交換させていただきたい。</p>
要望	<p>基本的には包括業務であることから、日々状況の変化する維持管理事業において、貴市の意向を踏まえながら可能な限り様々な業務に対応していく必要があると考えている。そのため、想定できる業務・作業についてできるだけ具体的に明示いただくとともに、各業務について十分な費用の計上をいただくことで、不測の事態への対応が迅速・容易になると考えるため、ご配慮願います。</p>
意見	<p>委託期間が長期間にわたることから、人件費の高騰や想定外の数量変動に対して、どのように対応されるのか明示いただければ、リスクを少なく見積もることが可能と考える。</p>

※記載内容は要約したのになります。